

Forest通信 令和3年 9

No.391

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター



高尾山のいきものたち

ナナホシテントウ

(テントウムシ科)



赤く丸い身体に七つの黒い点。葉の上にとまっている姿をとときどき見かける。体長が5~9mmで、背面は半球形に盛り上がっていて、体色は黒だが、つやのある赤い翅に黒い斑点がある。春から秋まで、平地から山地の日当たりのよい草地や緑地、畑などに見られる。冬は成虫のまま越冬する。

肉食で、主に植物に害のあるアブラムシ類を食べるので、農家にとっては農作物を守ってくれるありがたい存在だ。体内に有毒成分があり、また、攻撃を受けると臭いのある黄色い体液を出す。派手な赤色に黒い点は、食べようとする動物へ自分は毒があると警告する色となっている。鮮やかに見えるこの模様は、生き延びるために授かった印のようだ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

驚き桃の木 高尾の記

NO.6



東海自然歩道の起点は高尾山だった！

恥ずかしながら全く気づきませんでした。山歩きやハイキングをする人ならどこかで案内板を見たことがあると思いますが、「東海自然歩道」の東のスタート地点が高尾山の表参道である1号路の入口にあるのです。

東海自然歩道は、「明治の森高尾国定公園」と大阪の「明治の森箕面国定公園」を結ぶ総延長約1,700kmの長距離自然歩道で、昭和44年（1969年）に国によって構想され、翌年から4年ほどで整備されました。1都2府8県を通り、各地の豊かな自然と歴史を伝える文化財などに触れることができるもので、全コースを歩くと50日程度はかかるそうです。

ちなみに、わが国の長距離自然歩道は、北海道から九州まで、一部整備中のものも含めて10本あり、その総延長はなんと約27,000kmにもなります。関東エリアにある「首都圏自然歩道（関東ふれあいの道）」もその一つで、1都6県をぐるりと一週

する約1,800kmのコースです。この自然歩道の起終点も南高尾の梅の木平というところにあります。

長距離自然歩道を全コース歩けば、その地方の様々な植物や動物にも巡り会えて楽しいだろうと思うのですが、時間と体力とお金のことを考えるとなかなか難しいでしょうか。でも機会をつくって部分的にでも歩いてみたいと思っています。皆さんも1号路を登るときは、ここが大阪まで続く道の起点だということを改めて思い起こしてはいかがでしょうか。（枝）



起点（1号路入口）



起点標柱

火起こし器の考察



ヒノキは「火の木」か？

乾燥した30種類の樹木（竹を含めています）で「どのくらいの時間で火種ができるか」、弓切り式火起こし器を使って実験してみました。

ヒノキは「火の木」とも言われていますが、短時間で火種が出来るのかやってみたら意外と時間がかかってしまいました。火種のできる時間のベスト5はウツギ、キブシ、シノダケ、アジサイ、オニグルミ、ニフトコでした。共通しているのは木の構造が「随がある」あるいは「中空」ということです。ヒキリ杵の回転により摩擦が起きて火種ができるのですが、大きく回転するのは外側です。中空になっていない木の場合、木の中心が残り、先がとがった状態になってしまうので、中空になっていない木の芯には穴を開け、条件を揃えて行いました。

この実験により、昔からヒキリ杵として使われていた木は、火種のできる時間が短かったということも明らかになりました。

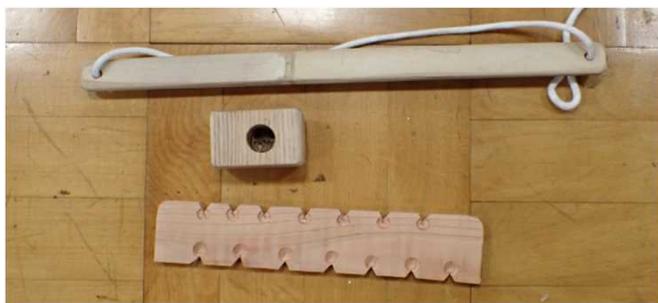
今回、草本のセイタカアワダチソウ、アメリカセンダングサもやってみました。意外にも火起こしに向いていることがわかりました。ほかの草本もためてみたら面白いのではないかと思います。（富）

樹種別火種作成時間比較表

木本		単位			秒
順位	樹種	1回目	2回目	3回目	平均
1	ウツギ	17	35	19	24
2	キブシ	32	22	21	25
3	シノダケ	39	30	22	30
4	アジサイ	32	30	30	31
5	オニグルミ	40	26	37	34
6	ニフトコ	34	35	35	35
7	ゴズイ	46	31	29	35
8	ヒサカキ	25	53	31	36
9	イタヤカエデ	51	29	32	37
10	ツノハシハミ	38	33	41	37
11	ハナイカダ	53	32	27	37
12	サクラ	45	32	39	39
13	イイギリ	53	29	35	39
14	スギ	43	31	47	40
15	ヒノキ	55	37	32	41
16	カツラ	51	38	38	42
17	ミズキ	47	38	42	42
18	ビワ	42	39	49	43
19	カキ	48	47	36	44
20	ケヤキ	54	46	32	44
21	エノキ	33	51	55	46
22	マツ	61	29	51	47
23	アブラチャン	37	47	58	47
24	アオキ	49	47	48	48
25	ムラサキシキブ	49	50	47	49
26	クロモジ	49	41	57	49
27	マルバアオダモ	56	43	49	49
28	カラスザンショウ	62	49	49	53
29	フサザクラ	55	72	64	64
30	クサギ	70	75	71	72

草本		単位			秒
順位	種名	1回目	2回目	3回目	平均
1	アメリカセンダングサ	28	17	20	22
2	セイタカアワダチソウ	40	31	24	32

実施日 2021年7月2, 4, 6日 天候雨・曇り
 ヒキリ杵 長さ31~33cm 径0.7~1.0cm
 ヒキリ杵 スギ板
 弓きり式火起こし器使用



使用した弓切り式火起こし器



使用したヒキリ杵



髓がある木



中空の木

編集後記

8月は全国で大雨による被害が相次ぎました。これからは台風が心配な季節となります。皆様、備えをお忘れ無く。

ワレモコウ



Forest通信 NO.391

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

